食はいのち CoopJoso News Letter
2024年2月3回号　発行：常総生協広報G

★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。※1月～2月末までに集まった【JOSOたすけあい基金】を令和6年能登半島地震への支援・義援金の対象としていきます。

★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号：500252　1口1000円～　にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号：500251　1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。
★JOSO脱プラ基金は注文番号：500254　1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。

2022-23年度活動テーマ 「つくると食べるでつながろう　～私たちの地産地消～」

第26期（2024～2025年度）「役員」選任公告

【役員選任委員】
中丸晴子（委員長）、浦谷利江、木村苑子、佐藤登志子、西尾典子

選任公告内容

2024年2月5日

常総生協第26期　役員（理事・監事）選任公告

常総生活協同組合
役員選任委員会
委員長　中丸晴子

常総生活協同組合 第51回通常総代会開催にあたり、当組合の定款第19条及び役員選任規約に基づき、第26期の役員選出の公告を行います。

記

1. 定数　理事15名（全体区分14名以内、職場区分3名以内）、監事（全体区分のみ）5名
2. 任期　2年（2024年6月～2026年6月）
3. 立候補・推薦の受付期間：2月12日（月）～3月29日（金）
4. 立候補・推薦の受付方法：立候補・推薦をされる方は、供給担当までお申し出下さい。所定の手続き用紙をお届けします。

※次ページに続きます。

2024年2月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
○「常総っ子応援団」ゴンタで遊ぼうin流星台プレイパーク ※毎週木曜日に外遊び活動をしています！（1/4はお休みです） ・2/10（土）みそ作りワークショップ@つくば、我孫子 ・2/11（日）みそ作りワークショップ@牛久・龍ケ崎 ・2/17（土）歴史講座 ・2/24（土）秋川牧園鶏肉講習会@つくば ・2/28（水）定例理事会	・2/10（土）、11（日）関東子ども健康調査支援基金　甲状腺検診I@新横浜 ・2/16（金）、17（土）NW21定例会 ・2/20（火）東海第二差止訴訟控訴審第2回口頭弁論期日 ・2/22（木）茨城県主催　食品表示基準講習会（商品部） ・2/27（火）JFSA理事会

生協とは生活協同組合のことで、常総生協は生活協同組合の一つです、生活協同組合とは自発的に手を結んだ人々の自治的な組織です。自助、自己責任、民主主義、平等、公平、連帯の価値を基礎とします。組合員は誠実、公開、社会的責任、他人への配慮を価値とします。

生協の役員について

【理事の役割】
- 定例（月1回もしくは隔月など）の理事会があります。
- 運営・経営の重要事項を決定します。
- 生協主催の催し等を企画運営します。
- 地区の総代さんと相談しながら各地区の催し、組合員地区懇談会などを開催し組合員の交流をはかります。

【監事の役割】
- 理事会や代表理事が、総代会で決定された事業計画および予算に従って、忠実に職務を遂行しているか、不正や誤りはないかを監査します。
- 監査は会計だけでなく、業務執行が法令・定款・規約などに則っているかという観点からも行います。

- 生協が大好きで理事会を通じて生協のことをもっとよく知りたい方。
- 生協の商品を利用していて少しでもいいものにしたいと思っている方。
- 商品に関心があって一つ一つ検討したいと思っている方。
- 生協の商品で公害の問題など世論をかえるきっかけをつくりたいと思っている方。
- 参加した仲間とじっくり話し合いたい方。
- 生協で仲間をつくりたい。

などお気持ちのある方、ぜひご応募ください。

≪協同組合の原則≫

1. 自発的で開かれた組合員制
2. 組合員による民主的運営
3. 組合員の経済的参加
4. 自治と自立
5. 教育、訓練、および広報
6. 協同組合間協同
7. コミュニティへの関与

第1回　役員選任委員会が開催されました　（専務理事　伊藤）

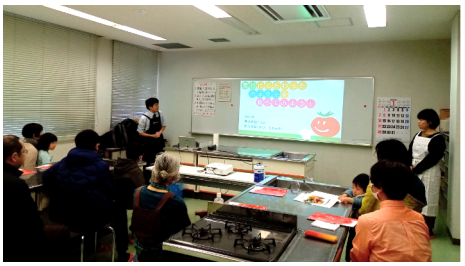
2023年6月の第50回総代会で役員選挙制から選任制に代わり、1月17日に第1回役員選任委員会が行われました。

昨年11月と12月の募集期間に理事会から立候補のあった理事2名のほか、組合員さんからは、4名の立候補があり、候補者同士の話し合いで決まった3名が就任しています。役員選任委員は役員の公告をし、自薦・他薦者の総代経験・役員経験・生協歴などをもとに役員を検討します。

第1回では、委員長の選出、選任委員の役割・運営説明、公告期間、公告お知らせ内容について話し合い、全体区分にあたる組合員理事、監事について、自薦（立候補）・推薦を問わず募集することになりました。次回の役員選任委員会は4月を予定しています。

1／20（土）ニッコーの冷食中華を楽しむ講習会の報告！　（報告：職員　倉田・稲垣）

つくば市小野川交流センターで、講師に(株)ニッコーの菊田さんを招き、中華冷食をもっと知って楽しもうと組合員11人（大人6人・子ども5人）・職員2名が集いました。



■当日の流れ
・ニッコーの紹介(工場や畑の様子、商品や市販品との違いについて)
・餃子の焼き方実演（焼き方のポイント↓参照）、市販品も焼いて。
・人気の中華冷凍食品（餃子・野菜たっぷりチャンポン・プチ肉まん）の試食
・みんなで試食をしながら、意見交換

【ニッコー流！餃子の焼き方ポイント】
準備するもの：徳用北京餃子1P、
油大匙1、水またはお湯180ml

①フライパンを温め、油大匙1をひきます。（お召し上がり方には小さじ1と書いてありますが、フライパンにもよるため、多めがgood）
②油を伸ばしたらいったん火を止め、冷凍餃子の底で油を伸ばしながら並べていきます。（火をつけたまま調理する場合は焦げないように注意）
③再び火を入れ（中火～強火）、約1分加熱します。
④水180mlを入れ、フタをして蒸し焼きにします。（約4分）
⑤水が沸騰し、少なくなってきたらフタをあけ、水分を飛ばします。
⑥水分が無くなったら、様子を見ながら、焦げ目がつくまで加熱します。
⑦焦げ目がついたら出来上がり！

菊田さんからの説明で印象的だったのは・・・
・ニッコーさんが近所の耕作放棄された畑で野菜を作ることになったのは原料の調達が難しいこともあるので自前で作ろうと思ったことがきっかけ。

・冷凍食品は手抜きと捉えるのでなく家庭で作る代わりの手間抜きと考えてほしい

・冷食はアレンジして食べるのもおススメ。お弁当セットのキンピラごぼうは卵焼きにいれても。

意見交換では・・・
・ニッコーさんの冷凍食品は味が濃くないのがよい
・おかずプレートのようなものが欲しい
・コロッケもポン酢やソースをかけて味変できる
・自然解凍できるものが、もっと揃うとよい
・慌ただしい朝に冷凍食品なら温めるだけで朝食になるのが良い　　等様々なお話ができました。

■参加者の感想

・安全な食品だと分かりました。美味しいギョーザに大満足です。焼き方のレクチャーは有難かったです。キッズルームがたまたまあり、　そこで理事長さんが子どもと遊んでくれたので助かりました。他にもみなさんによくして頂きありがとうございました。冷凍食品＝危険という想いがありましたが変わりました。
ニッコーさんの食品であれば子どもにも安心して食べさせられます。ウィンナー・フランクフルト・アメリカンドックなど息子が好きでよく食べます。子ども向けにさらに味が薄いものがあると嬉しいです。離乳食部門があると助かるなぁと産後思ってました。今回初めてイベントに参加して、食の学びになりました。子どもをみてくれれば（遊び場があれば）、これからも参加したいです。（きっと他のママさんも思っていると思います !!）「生産者さん巡りツアー」のような家族旅行×食育があったらいいなぁなんて夫とよく話もしています。毎月の積立も生協さんでやってもらって・・・。
・前から見かけると購入していたので、工場や畑の様子がわかって良かったです。市販のギョーザとの比較もわかりやすくて良かったです。子どもへの食育にもなったかも。ありがとうございました。
・直接メーカーの方の話を聞ける機会はないので、大変良かったです。勉強になりました。
・ニッコーの食品がとてもこだわって作られていておどろきました。ギョウザ美味しかったです。
・とても勉強になりました。

【訃報】(株)おかべや　代表の影山治雄さんが亡くなられました

1月28日に(株)おかべやの創業者で代表の影山治雄さんが心筋梗塞のため亡くなられました。75歳でした。

2015/6/27　本部で豆腐とパンの講習会

影山さんと常総生協の出会いは今から23年前の2000年に遡ります。当時常総生協は、「菜の花プロジェクト」(※)に参加していました。

※菜の花プロジェクト
地域で菜の花を自給することで輸入の遺伝子組み換え菜種に頼らない地域づくりを目指し、またせっけんを利用することで地域の水環境を市民みんなで考える全国会議/プロジェクト。

その一環で、島根県出雲市で圧搾搾りの菜種油を製造する影山製油(治雄さんの実家)を訪問しましたところ、「神奈川に親族の豆腐屋がありますが、生協で扱えませんか」とご紹介頂いたのが、おかべや・影山さんとのおつき合いの始まりでした。

初めておかべやさんの絹豆腐「雅(みやび)」を食べた時の衝撃は忘れられません。また、その後「豆乳とおからを活用した、無添加、天然酵母、国産小麦のパンを作りたい」とはじめたパンも絶品。「おから甘食」はおかべやさんでしか作れない味わい深さでした。
また、2003年に地元の旧谷和原村で起きた遺伝子組み換え大豆栽培事件を契機に立ち上げられた「大豆産直提携」にもご尽力。地元の青大豆を引き受け「青大豆おぼろ豆腐」を常総生協組合員のために長年製造頂きました。

しかし、2021年、惜しまれながらも廃業。真面目なものづくりとは裏腹に余裕のある経営とは言えず、断腸の思いでした。

またの再起を心待ちにしておりましたが残念な結果となりました。常総生協役職員一同、心からお悔やみ申し上げます。

東海第二原発運転差止訴訟　控訴審　第2回口頭弁論は
２月２０（火）１５：３０～東京高等裁判所101号大法廷にて

第1回口頭弁論が行われた2023年7月11日から7か月を経て、第2回口頭弁論が、東京高等裁判所101大法廷にて２月２０日（火）１５：３０から行われます。原告、賛同人の方はもちろん、組合員に方も東京高裁へ是非お集まりください。（「原告傍聴者名簿」を裁判所へ提出するため、**原告の方**は、常総生協0297-48-4911まで**「2/20裁判傍聴申込」のお電話をお願いします**）。

14:00　受付開始
14:30　傍聴券抽選　裁判所前集会
15:30　101号大法廷にて口頭弁論
16:45　記者会見・報告集会（弁護士会館）

2023/7/11（第1回弁論期日の入廷行進）

※2012年7月に東海第二原発の運転差止を求めて住民が水戸地裁へ提訴してから常総生協は原告団事務局を担っています。提訴時の原告266名の内50名が常総生協の組合員と生産者です。水戸地方裁判所での一審判決は「避難計画に不備があり、３０㎞圏内の住民に人格権侵害の危険があるため、東海第二原発を運転してはならない」との勝訴判決でした。即座に被告 日本原電が控訴し、第2審（=控訴審）へと至っています。

この間の動き

2023年	10/16	日本原電は防潮堤工事の施工不良で今年6月から工事を中断していたと公表 （他社から出向で、2年間基礎工事に携わった方の内部告発から発覚、公表へ）
	11/28	茨城県が日本原電から提出された「拡散シミュレーション」を元に「避難は最大17万人」と発表
	12/16	東海村議会は住民から提出された「再稼働を求める請願」2件を可決。 「反対の請願」3件は否決。
	12/21	日立市が「避難計画概要」をHPで公表、パブコメへ（本計画は年度内発表予定）
	12/28	東海村が「広域避難計画」決定。避難先は取手市・守谷市・つくばみらい市。バスなどの手配は未定。
2024年	1/1	最大震度７の能登半島地震。
	1月	原電社長、「2024年9月工事終了の予定延びる」と言及